



あたしこれから
どうなっちゃうん
だろ……

ボスの指令により
トリッシュ保護に動いた
幹部であったが
暗殺チームが一足早く
拉致に成功したのだった

父親のことなんて
何にも…本当に
知らないのに…



ん……

こちらです
リーダー

はっ…!





…なにもここまで
縛り上げることは
ないんじゃないか？
猿ぐつわまでさせて

いやこいつが案外
暴れまくるもので…
護身術やって
たんじゃあないか
つてくらい

かなりてこずりましたぜ
バラしちまつちゃあ
元も子もないしよオ

シヨボイな
お前ら…



そうなるよ
…もう殺すしか…

うむ…

!!



後はリーダーに
お任せしますが…

しかし彼女…
一応口を割らせ
ようとしてみたものの
ボスのこと秘密に
してるといより
まるで何も知らない
ようでしたぜ

例の…能力も
特に見受け
られなかった!



ひとまず様子を見よう…
能力の方は
まだ発現してないだけ
かも知れない

それもそう
ですねでは…

ガッ
ガッ
ガッ



ガッ
ガッ
ガッ



縄を解いて
やるがおとなしく
すると誓えるか



部下が手荒い真似を
したようですまなかつたな
できればまだ
殺したくはないんだ……

ガッ

ガッ



殺そうと思えば
一瞬なんだ……

……誓えるな？



あたし……あたし本当に
何も知らないの……
生まれてから一度も
……顔すら見たことないのよ

母親から
何か聞いたり
してないかと
考えたんだが……

ふむ……
本当に何も
知らないのでは
利用価値が薄いな……
ボス相手に
人質交渉するのは
難しいだろう……



むしろ何か知って
いて秘密にしてる
って方が……

おまえにとつて
よかったかも
しれないんだが……

あたし……
やっぱり殺され
ちゃうの……？

グッ
グッ



しかしスタンド能力……
ポスの能力のヒントに
なり得る……！

これが発現すれば
あるいは……という
ところだ……

肉体的な危機
精神的な危機
により潜在能力が
表に出て
くるかもしれない

な……まさか……

多少我々に
とっても危険な
賭けではあるがな

三日だ！三日
おまえにやろう

能力が発現するまで
我がチームの慰みもの
となつて生きろ
……発現しなければ
それまでだが……

だがもし皆が
おまえを愛玩動物として
気に入ったなら……
その後も生かして
やらないこともない……

な……
な……
な……



まずオレが
具合を見てやろう
……

グッ
ギッ

ギッ
ギッ

ギッ
ギッ

ギッ
ギッ

……ひどい……こんなの……
殺されるより屈辱……

グッ
ギッ



あつあなたに……ッ
同情される覚えは
ないわッ



はー
はー

おまえもつくづく
不運な女だな
少しばかり
同情する……



……おまえは
処女……なのか……

まそれはそーだ…



なに…今の…
何飲ませたの??
喉が…熱い…ツ

ちよとキツイだけの
酒だ心配するな

最初だけは楽しんで
やろうという
ささやかな慈悲だ…

…慈悲…
ですって…!?



そら…力抜けて
きただろう…
秘部も熱を持ってきた…

うむ…いい具合だ

どうかな…?
初めての男の味は…
屈辱か?

おまえに何か
能力があるなら…
発現させて
見せてみる…!

このオレを殺れる
ほどのチカラを…
もしかしたら
持つてるかも
しれないぞ…

ひゅ…あつ…



能力なんて
…ものが…本当にあるなら…
発現…できるものなら…したい…
けど…



だめ…カラダの
どこにも力が入らない

ズンズンズン

そんなことより
この感覚に身を任せてほしい…
こんなの…だめなの…



ああ…！気持ち悪い
なんて死んでも
思いたくないの！…ッ！！



ちがうか?

そんな……
……なッ……
……ああッ

欲しい……
欲しいの……
……はやく……



おまえのカラダは
オレの命の種子が
早く欲しいと
言っているようだ

こんなに収縮
して……しめ
あげてきて……



どうした
トリツシユ……



はは……
なかなか……
可愛いじゃあないか……
おまえもイかせて
やるから安心しろ



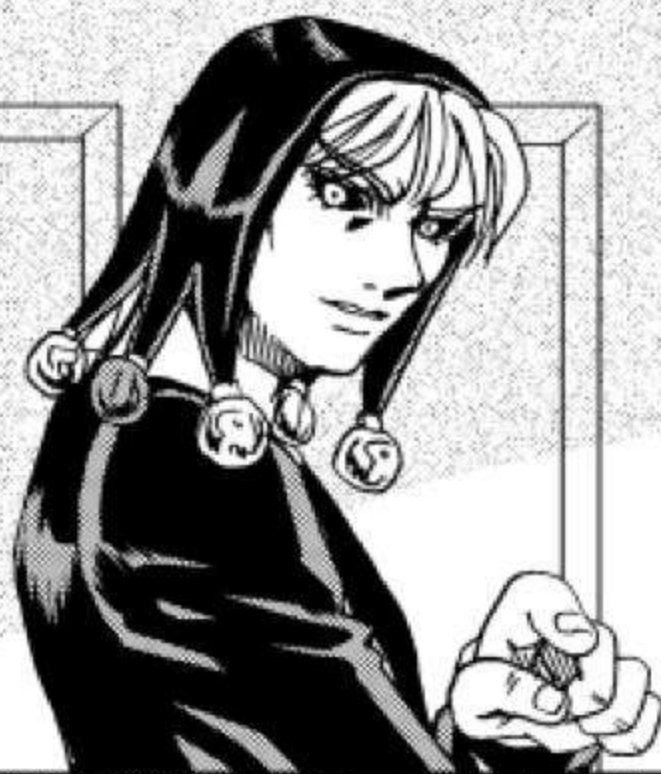
ん……?

もっ……ダメ……

ほしい……
はやく……



チームのベツトに
する前に……
オレがじっくり
そのカラダに訊いてみる
つてのもアリかな…



Fine.

Grazie a tutti! (* °Д°)